

日本ヘルスプロモーション理学療法学会 第9回学術集会の御案内

1. 開催要項

テーマ：新しい時代におけるヘルスプロモーションの役割

日時：令和元年11月3日（日）

会場：医療福祉専門学校緑生館理学療法学科・作業療法学科校舎3階階段教室
〒841-0074 佐賀県鳥栖市西新町1428-566

大会長：政所 和也（医療福祉専門学校緑生館 理学療法学科）

参加費：1,000円（弁当代を含む，大学院生・学生は無料）

事務局：医療福祉専門学校緑生館 理学療法学科

TEL: 0942-84-5100 FAX: 0942-84-0768 E-mail: s.ego@ryokuseikan.ac.jp（*は@へ）

2. プログラム

8:30～ 受付開始

9:00～9:05 開会のあいさつ

政所 和也（日本ヘルスプロモーション理学療法学会 第9回学術集会大会長）

9:05～9:50 特別講演

『地域支援におけるこれまでの歩みと今後の期待 —作業療法士の視点から— 』

演者：倉富 眞（医療福祉専門学校緑生館作業療法学科）

座長：大田尾 浩（西九州大学リハビリテーション学部教授）

10:00～12:00 一般演題（6題）発表10分，質疑応答10分

12:00～13:00 昼食／総会

13:00～13:45 教育講演

『Shoulder Frailty —加齢に伴う肩関節の衰え— 』

演者：甲斐 義浩（京都橘大学健康科学部准教授）

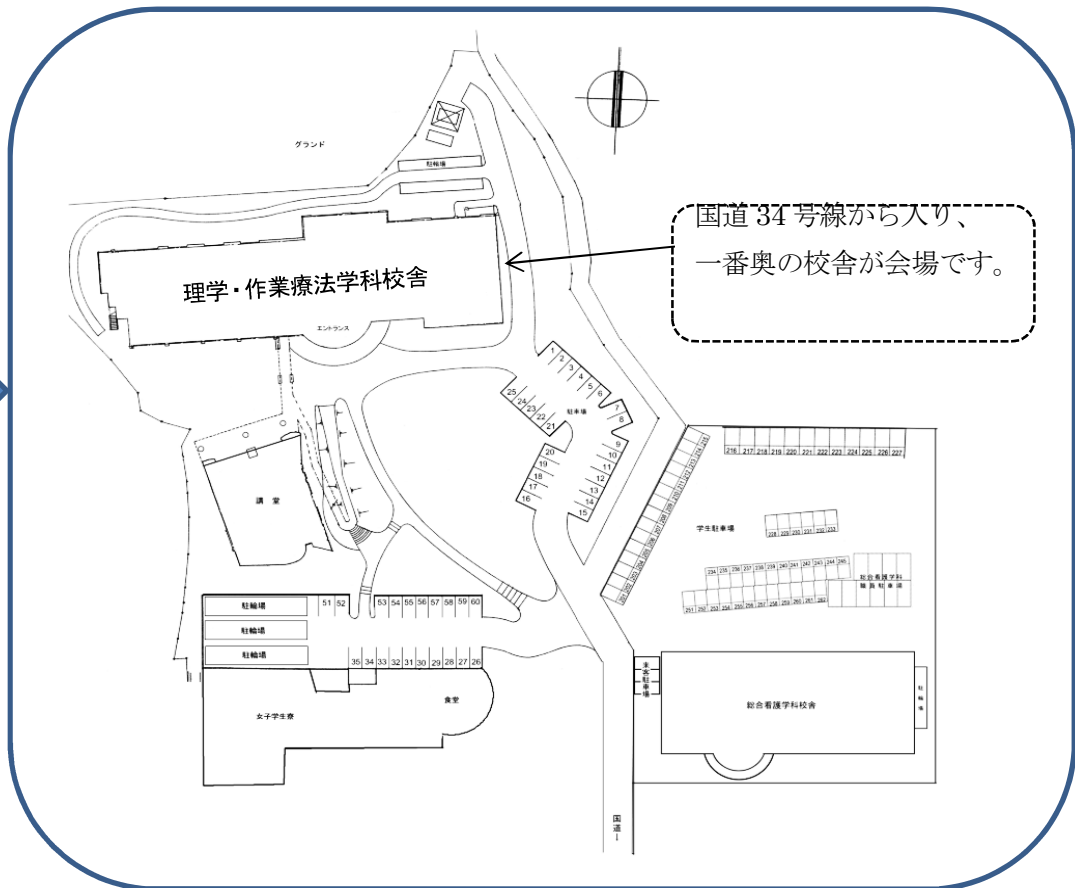
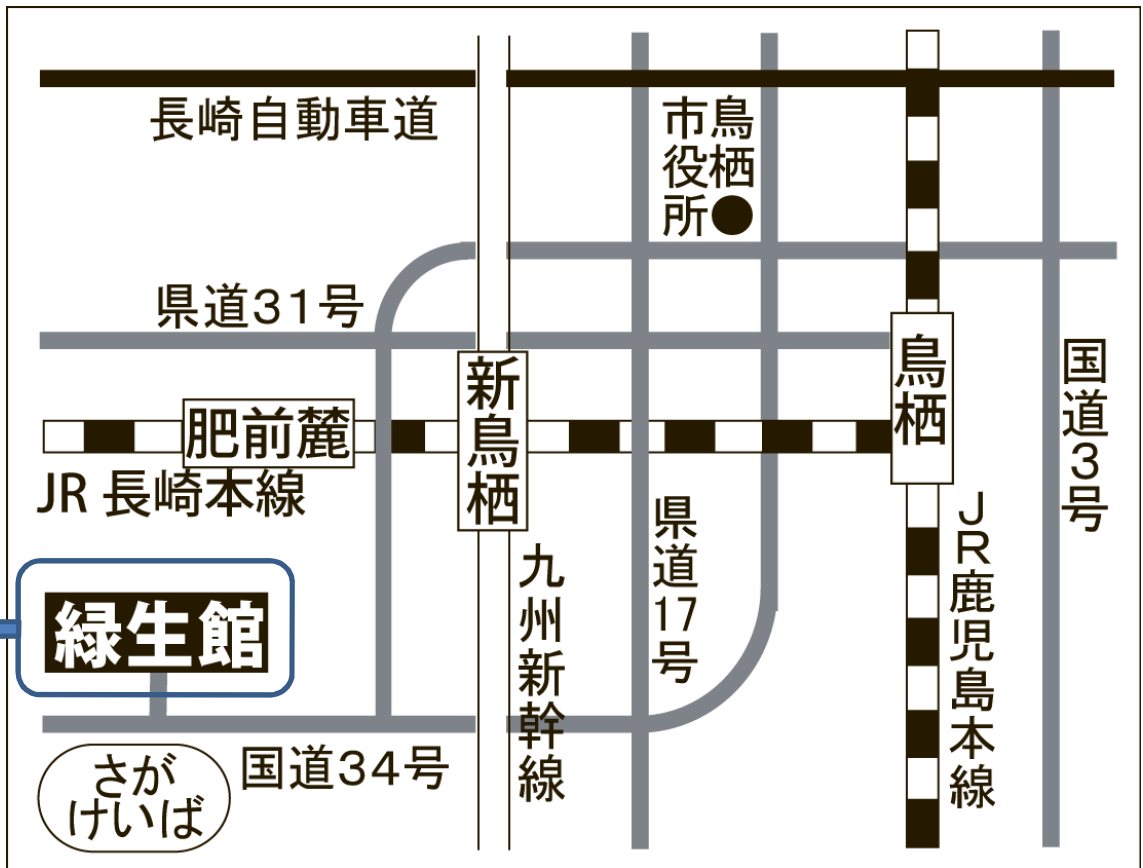
座長：政所 和也（医療福祉専門学校緑生館理学療法学科）

13:55～15:55 一般演題（6題）発表10分，質疑応答10分

16:10～16:15 優秀演題表彰式

16:15 閉会のあいさつ

3. アクセス



4. 演題募集期間

令和元年 7 月 31 日まで

- ・期間内に下記のメールアドレス宛てにメールにて演題登録を行ってください。
- ・演題を登録されますと後日確認メールが登録のメールアドレスに届きます。確認メールが届かない場合は、演題登録などが正確になされていない可能性がございますので、ご連絡ください。
- ・採択結果は、後日メールにて通知いたします。

5. 演題登録要項

- 1) 口述発表のみ。
- 2) 原稿について

演題名・著者名・所属・抄録本文は、必ず OS: Windows, アプリケーション: Microsoft Word (Word 以外での投稿は受け付けません) で作成してください。

抄録本文は全角 500 字以内 (演題名, 著者名, 所属を除く) で作成してください。原稿サイズは A4 版。フォントは MS 明朝, 文字サイズは 11pt とします。また, 余白などに関する指定はありません。作成した抄録は, 下記 6) のメールアドレス宛てに添付ファイルで送付してください。演題投稿の際には, 著者名・所属・連絡先を必ず明記してください。

- 3) 演題名は 50 字以内, 副題は 40 字以内で作成してください。
- 4) 登録可能な最大著者数 (筆頭著者+共著者): 10 名まで,
投稿可能な最大所属施設数: 10 施設まで
- 5) 原稿を作成の際は, 見本を参考にしてください。
- 6) 発表代表者は, 原則として正会員に限ります。正会員でない場合は, 「日本ヘルスプロモーション理学療法学会」へ入会の手続きを行ってください。
- 7) 演題登録・問い合わせ先

医療福祉専門学校緑生館 理学療法学科 (竹井 和人)

〒841-0074 佐賀県鳥栖市西新町 1428-566

E-mail: k.take*ryokuseikan.ac.jp (スパムメール防止のため@を*にしております)

TEL : 0942-84-5100 (代表) FAX : 0942-84-0768

※見本

地域在住高齢者の身体・認知・心理機能に及ぼすウォーキング介入の効果判定

—無作為割り付け比較研究—

西九太郎（〇〇大学），西九花子（〇〇国際大学）

本研究の目的は、地域在住高齢者を対象にウォーキングによる運動介入を行い、その介入が身体・認知・心理機能に及ぼす効果について、無作為割り付け比較試験により検討することである。対象は、地域在住高齢者69名（平均年齢72.0±4.4歳）とし、快適自己ペースでのウォーキングによる運動介入前後の身体・認知・心理機能を比較検討した。その結果、週3日、1回30分のウォーキングを12週間継続できた介入群25名（脱落者:10名）の測定値は、介入後6分間歩行距離が有意に延長し、主観的健康感、生活満足度、生きがい感といった心理面の有意な向上が認められた。一方、その他の指標とした上下肢筋力や立位バランスなどの身体機能、および認知機能には有意差は認められなかった。なお、統制群29名（脱落者:5名）におけるすべての測定値に有意差は認められなかった。これらの結果から、快適自己ペースでのウォーキングは、地域在住高齢者の介護予防や健康増進に有用である可能性が示された。ただし、身体機能や認知機能を向上させるためには、本研究における介入の期間や頻度、および運動強度などの検討がさらに必要であることが明らかとなった。

6. 演題の採否通知について

演題登録時に入力いただきましたメールアドレスへ、8月中旬に採否通知をお送りする予定です。

7. 発表形式について

- 1) 発表時間は10分、質疑応答は10分です。
- 2) 発表用コンピューターはOS: Windows XP以降、プレゼンテーションソフト: Microsoft PowerPointを用意します。(Macintoshは用意していません。変換コネクタが必要な方は準備をお願いいたします。)
- 3) 動画、音声出力は対応いたしません。ご了承ください。

8. 演題登録についての注意事項

- 1) 登録締め切り後の原稿の変更および共著者の追加、変更は一切できません。重要な共著者が漏れているようなことのないよう、十分に確認ください。
- 2) 機種依存文字の使用は避けてください。機種依存文字のチェックの際は、<http://www.submit.ne.jp/tool/uniquechar/check.html> などをご使用の上、ご確認をお願いいたします。